

いつも1番でいたい。  
だから、どんな努力も厭わない。  
(沢登 正朗 さん)

No.13



No.14



ぼんやりしてちゃだめ!  
常に生きる意味を考えながら、  
好きなようにやりなさい。  
(室井 佑月 さん)

No.15



2007年



13号~18号  
(2007年春~2008年夏)

キャラクターの『ろんちょ』くんが立体からイラストに。この頃になると大学生スタッフも2代目、3代目になり、大学生たちの間でも『ろんちょ』の知名度がアップ。毎回の座談会に出席してくれた学生たちも、今ではみんな社会人。あの頃の自分の熱い?発言、覚えているかな。

No.16



2008年

夢は熱く語れ!  
何度も何度も語れ!  
(北原 照久 さん)

No.17



物事に疑問をもつことが  
ジャーナリズムの原点。  
(蟹瀬 誠一 さん)

No.18



19号~24号  
(2008年秋~2009年冬)



子どもへの  
「愛してるよ」光線は惜しみなく。  
(林家 たい平 さん)

大学生とのタイアップ企画に一区切りをつけ、2009年春からは子育て世代向けの企画を充実。著名人インタビューの内容も、ご自身の子ども時代のことや、子育てについての話題となりました。編集体制は、既に子育てを忘れかけている?石原編集長、増測と、子育て真っ最中の望月、という凸凹トリオに。

No.23



大人も子どもも、  
人生を愉しむ力を鍛えよう。  
(武田 双雲 さん)

努力の重みが、  
勝負の自信になる。  
(古賀 稔彦 さん)

No.19



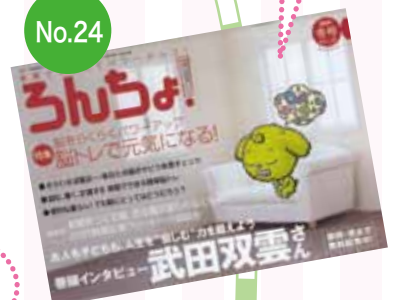
No.20



No.22



No.24



子どもは、いつも  
泥んこなくらいがちょうどいい。  
(北斗 晶 さん)

2009年

No.21

